

ユーザー探訪

セイフティレコーダ(SR)導入で、わがまま運転から本当の安全運転へ

「環境」が最大のテーマ！
いい方向に会社を大きく変えるために

株式会社 ハーツ

代表取締役 山口 裕詮様にインタビュー



会社概要

株式会社 ハーツ

所在地：東京都品川区南大井5-12-3
TEL：03-5762-0072 (代表) FAX：03-5762-0073
http://www.hearts-exp.com/
営業拠点：関東地区 13 拠点、中部地区 3 拠点
設立：1995年10月1日
代表者：代表取締役 山口 裕詮
事業内容：運転手付レンタルトラック『レントラ便』、
廃棄物処分『エコ・ユウセン』、
定期的運送『The 定期便』、その他それらに付帯する業務
従業員数：14名
車輛台数：14台 軽自動車 1t車 (ワゴンタイプ)、
2t・4t車各種 (エアサス・平ボディ・パワーゲート・
ウイング各車有)、4t平ユニック車など
SR導入：SRPocket 8台 2006年4月 5台
11月 3台

“脱・下請け”をスローガンに、会社の大変革に着手する。好循環を生むためには、変革しかない。

その変革の柱として、自社ブランドを創り上げる。『レントラ便』『エコ・ユウセン』『The定期便』が生まれた現在を第2創業期と位置づけ、それらブランドの確固たる確立を目標に掲げ、Webを積極的に使った営業活動を展開。お客様の信頼を得るためには、お客様が求める情報を提供し、安心していただくことが基本。「グリーン経営認証」、「Gマーク」取得など、信頼につながる取り組みを行い、発信し続けなければならないと考えている。お客様に荷物と一緒にハーツをお届けしたい・・・少数精鋭のハーツの精神です。

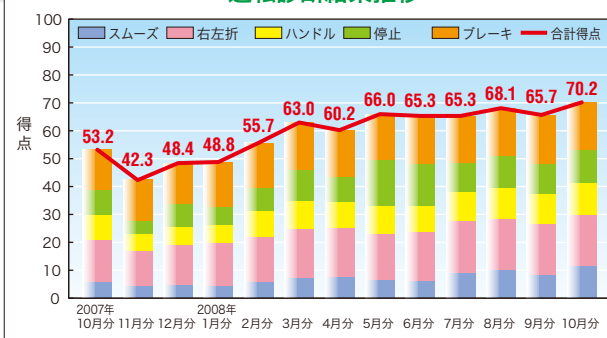


『レントラ便』は、運転手付きトラックのレンタカー。運送業者の中で唯一インターネットでの配送スポット予約、見積りが可能なサービス。様々なメディアにも取り上げられ、注目されている。

1 SR導入の効果

- 燃費14.7%向上 (2007年度 前年比)
約100万円のコストダウン!
⇒グリーン経営認証取得
- SR導入後、事故ゼロ件達成!
⇒2008年度 車両保険割引率 70%
⇒Gマーク申請中 ※2008年11月現在

運転診断結果推移



2 SRとの出会い

データ・テックとの出会いは、東京中小企業家同友会の会合でのこと。安全・環境に役立つ『セイフティレコーダ (SR)』というものを製造していると聞きましたが、どのようなものか当時は知りませんでした。

移り変わる社会の中で「会社をいい方向に変えるためには」と方向性を模索し続け、「環境」を会社のコンセプトに。

2006年、運輸低公害車普及機構 (LEVO) の『エコドライブマ

ネジメントシステム (EMS) 普及事業』説明会に参加。内容は、EMS用機器をリースし、エコドライブに関するデータの収集・分析を行うため、機器導入費用の1/3を補助するというもの。これは、「エコ・安全対策機器を導入できるチャンス!」と思いました。SRも適合機器だと知り、無料お試しを体験。こんなデータが取れるのか!と驚きました。会社で目指すテーマに一番マッチしていたため、他の機器に迷うことなく導入を決めました。

3 SR導入の経緯 ～「脱・下請け」に向けて～

創業当時は、ほとんどが下請け業務で、大手に売上の大半を依存。ある日突然の取引停止で、会社に危機が迫りました。最後まで、やれるだけのことをやる、と大きく舵をきる。その方向は、「会社をいい方向に大きく変えること」最大のテーマは、“脱・下請け”。これからの社会で重視されると感じた『環境問題』を軸に、今まで不十分だった仕組みを一つひとつ実行しました。そうすれば、お客様に評価していただければ、その評価は、また仕事となってめぐってくると思いました。

SRもその流れの中で導入。エコドライブと安全マネジメント対策のひとつとして活用することにしました。



左から山口社長、河澄部長、小林さん、内海係長

4 SR導入当初

(1) 社長自らドライバーの点数を常に気にかける

EMSの燃費改善とともに、運輸安全マネジメントにも「運転診断結果を活用し、改善」と目標を掲げました。

SR導入当初は、社長が70点を基準に、診断結果を評価。良いところには『すばらしい!』など気づいた点をコメントし、返却。悪い時には「改善の余地あり」と書き込み、直接声をかけました。なかなか点数が上がらないドライバーがいれば、高得点ドライバーに、「君からもアドバイスして欲しい」と伝える。すべてのドライバーの運転結果について、社長が必ず目を通し、評価と指導を継続。その直接指導は、厳しくもあったが、よい時には褒められるので励みになったとドライバーは語ります。

(2) ドライバーの反応と会社の雰囲気作り

SR導入に際し、ドライバーへの説明は「こんな機器を入れるよ」程度にあえてとどめていました。いざ装着してみると、アイドリングの時間までわかるSRに、「やっかいなものが入った!」とブーイング。また、自分が思ったより点数が伸びないので、「運転テクニックが悪いとは思えない」「軽自動車で30点は当たり前」という意見まで出る状況に。

それに対し社長は「SRは、運転のうまい、下手という『運転テクニック』を見ているのではない。安全運転をすれば自然と点数が出るものだ」と、笑ってアドバイス。不満解決に向けて会社全体で知恵を絞りました。時間はかかりましたが、ドライバーの意識に変化が表れています。

また、下請け業務中心の当初は、1運行ごとに点数を出すため、ドライバー自身が毎日点数を確認できず、その日のうちに自分の運転を振り返る時間が持てませんでした。しかし、会社の仕

組みが変わるにつれ、点数が毎日出るようになり、仲間の点数も気になり始めます。社長が声をかけずとも、“お互いに点数を見せ合える”という雰囲気が会社に根付いてきています。



毎日、報告、連絡の打ち合わせをし、SRについての情報交換も行われます(左:内海係長 右:千葉さん)

5 ハーツ様のSR基本運用

【基本】 点数と指導書を活用



1. SRの点数(毎日確認)



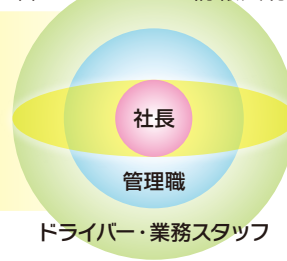
2. 指導書

【うまく運用するコツ】

- 社長は会社の雰囲気づくりをする
- 点数を社内で共有する『みせあいっこ』
- 運行後、毎日ドライバー自身で点数を確認する

SR運用体制

社長が会社の“目”になり、皆でSRについて情報共有

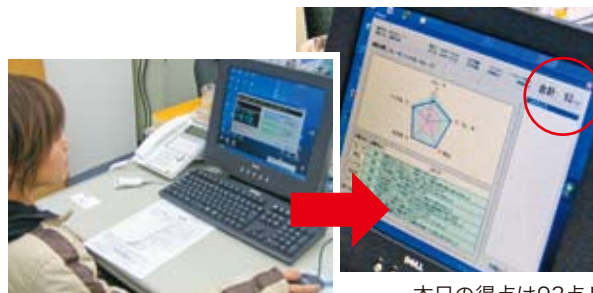


【1日の流れ】

- ① 帰庫時に、ドライバー自らメモリースティックをパソコンに差し込みデータを取り込む
- ② 自動印刷で点数(あれば、指導書)が出てくる
- ③ 報告書、燃料の領収書など提出書類と一緒に係長に提出
- ④ 本日の業務報告と点数について話し、明日の予定も確認

【軌道にのせるまでのポイント】

慣れるまでは、データ・テックのSR 6ヶ月フォローアップを有効活用。係長が自らSRのデータ傾向グラフも作成できるようになりました。



本日の得点は93点!

今日の点数を確認中の女性ドライバー工藤さん

6 ハーツのオリジナルルール

褒賞制度 2007年10月からスタート

100点出したら、2,000円/回

最低でも55点をキープする

55点を下回る点数を出した場合※は、都度面談。※導入当時は2t車以上が対象
改善なき場合は、ドライバーを降る（現在対象者はいない）

給料日の恒例行事

- ①重要書類の確認
 - ・1か月分すべての運転診断書の確認（自分の分だけではなく、全員分）
 - ・業界紙、専門紙など社長セレクト情報の確認
- ②社長のところへ行って確認
 - ・免許証直視確認
 - ・給与明細受領



診断表は全員の分を全員でチェック！
点数は、社内みんなのもの。

7 SRにまつわるエピソード

山口社長談

- SR未搭載車で、気の緩んだ運転をした後に、SR搭載車両に乗るとそのままクセが出ます。常に安全運転に心がければ、どの車両に乗っても、いつも運転操作が安定します。
- ドライバー自身が、試行錯誤しながら点数アップに取り組んでいます。はじめは慣れず、後続車両からクラクションを鳴らされてイライラすることも。しかし、徐々に気にならなくなる。その後、気持ちに余裕をもつことが安全につながる、と気付くようです。また、今までの自分の運転は『ワガママな運転』だった、とも。より安全運転になっただけでなく、人間としても成長できたと、ドライバーが言ってくれるのは、とてもうれしい。

内海係長談

- SRの点数は、精神的な状態も表わしていると感じます。気持ちが不安定なときは、点数も不安定。
- 点数を取ることは楽しい。特に100点が出たときは最高。いつもは2桁の数字が3桁になっているのが100点ですから。今はドライバーを見守る立場なので、仲間である皆が、いい点数を持ってきてくれるのがうれしいです。



ドライバー皆がいい点数を出してくれることが本当に楽しいと話す内海係長

まとめ

環境をテーマにSRを導入したが、安全効果がこんなに出ると思っていなかった。
安全・エコ運転についてのコミュニケーションが増え、現在ではドライバーが自主的にその日の運転について振り返り、

次の改善につなげる習慣が根付いてきた。

安全運転をキーワードに、SRは『人をいい方向に変えて』くれる。ドライバーは、より安全運転を習得することで人間的にも成長している。ドライバーにも、会社にとっても、SRは刺激的な存在になっている。

ドライバーの皆さんにインタビュー

Q1. 導入当初、SRをどう思いましたか？

- なかなか良い点数が出ないので落胆した
- なんて面倒な機械だと思った
- 自分の運転はもっと良い点数だと思っていた
- 自分の運転が安全運転でエコ運転ではなかったことを痛感した

浮き上がってきた疑問は・・・

「いつも同じように運転しているハズなのに、なぜ毎日点数が違うのだろう？」

Q2. SR攻略までの道のりを教えてください。

Step1 (仮説) 速度に関係があるのではないかな？

トロトロ運転（速度を出さない運転）をすれば点数が出るのでは！？

- ▶クラクションを鳴らされたりする
- ▶意識しすぎるとギクシャクした運転になってしまう

(結果) 違う！ 速度ではない。制限速度を守ればOKだ！

飛ばしても飛ばさなくても、到着する時間はあまり変わらないことにも気付く

Step2 (仮説) 項目ごとにポイントがあるのでは？

一度に欲張らず、苦手な「1項目」に絞って、改善を試してみる

- ▶車間距離をとることがポイント
- ▶ゆっくりハンドルを回して戻す など

(結果) 安全運転をすることが点数アップにつながることをわかった



『レントラ便』車両の前でドライバーさんとパチリ
左から、内海係長、中尾さん、山口社長、千葉さん

Q3. SRに対して、現在の思いを聞かせてください。

- 良い点数を出すように運転した結果、エコ運転+安全運転ができるようになった
- 他の車に対して心遣いができるようになった
- プロドライバーとして、自分の運転を見つめ直すチャンスを与えてくれた機械
- 事故を防ぐためにとてもいい機械である

ハーツの 安全運転で 点数が出る“技”

ハンドル

- ハンドル操作は、ゆったりとゆっくりとが原則です。直進しているときのハンドルの揺らぎに注意する。
※車庫入れ時及び後進時のハンドル操作は、特にゆっくりと操作する。

右左折

- 交差点及びカーブの進入速度は、20km/h以下にし、ゆったりとハンドル操作をする。
- ハンドルを戻すときは、さらにゆっくり戻すことに注意する。
※交差点の手前で必ず速度を落とす。曲がり始めてからの減速は減点になります。

スムーズ

- ギアの変速に注意する。車種により異なるため、軽自動車では以下のように、ギア変更スピードを決めている。
(例) 1速→スタートのみ、2速→10 km/h以下、3速→10 km/hから、4速→25 km/hから、5速→35 km/hから
- クラッチは、なるべくゆっくりつなぐ。
- 高得点を取るためには、急加速、急発進、急ハンドル、急停止をしない。そのためには、十二分な車間距離を取り、常にアクセルの踏みしるを一定にする。
- 長い距離を使い、ゆっくり加速し、ゆっくり停止することを心がける。

軽自動車でも
点数UPしました!
→平均約90点



現在ハーツNo.1ドライバー
平林さん
今回点数アップの「技」を
教えていただきました。



同じ軽自動車チームの
阿部さん

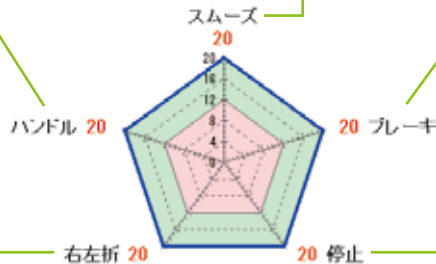
平林さんの
アドバイスをもとに
がんばっています!

ブレーキ

- なるべく長い距離を使い、ブレーキペダルの踏みしるを一定にする。

停止

- 歩行者用信号機を重視する。歩行者用信号機が赤になったら減速を始め、長い距離を使い、ブレーキペダルの踏みしるを少なく一定にし、最後にブレーキを抜く。最後にガクンとなるブレーキ操作は減点になる。



総合ポイント

- 車間距離を十二分にとる。
- 交差点左右時において、自転車及び歩行者の巻き込みに注意する。
- 運転速度に注意する。
- 心を落ち着かせて平常心を保つ。

まとめ

- ドライバー自身が気付く(意識を変える)ことが大事
- 日常運転の中で起こる環境に惑わされず、安全運転への強い意志を持つことが必要!

株式会社 データ・テック

第8回 SRお客様交流会を開催いたします

「SRを中心とした安全と環境への対策」をテーマに、SRを導入されたお客様による事例についてのご講演を企画しております。是非ご出席のうえ経験交流、意見交換の場としてご活用ください。

(事前登録制)

- ◆ **会期** 2009年2月6日(金)
- ◆ **時間** 11:00~19:00
- ◆ **会場** 大田区産業プラザ PiO
4F コンベンションホール

【お問い合わせ先】

株式会社 データ・テック 広報まで
TEL 03-5703-7060

第8回SRお客様交流会 ご講演内容(予定)

「運輸安全マネジメントへの取り組み」

独立行政法人自動車事故対策機構
安全指導部 マネージャー 黒仁田 祥三 様

「SRを利用して交通事故0(ゼロ)を目指す!!」

大和ランテック東日本株式会社
施工営業部 業務課 主任 高橋 裕之 様

「SR評価点向上への取り組み」

池町運輸倉庫株式会社
営業本部 危機管理部 部長 山崎 努 様

「燃費改善事例報告(仮)」

スナックフードサービス株式会社
埼玉センター長 箭内 操 様
埼玉センター ドライバーチーム 黒崎 淳寛 様

株式会社 データ・テック

〒144-0052 東京都大田区蒲田5-8-7 K-1ビル8F
TEL.03-5711-7286 FAX.03-5703-7063
http://www.datatec.co.jp